

産学官連携日本酒プロジェクト

お酒と育つ、地域の人材

私たちは明和町を中心に活動し、日本酒を作っています。原料となるお米を田植えすることから始まり、仕込みのお手伝いをさせていただきます。地域に根差した活動で、いろいろな方との交流もあり、多様な経験を積むことができます。

* TEAM DATA *

メンバー数 : 13名
活動場所 : 明和町
実施主体 : 一般社団法人 神都の祈り
担当教員 : 千田 良仁 (現代日本社会学部)
活動年度 : H27, H28 H29 H30, R01, R02, R03, R04

👉 こんな人におすすめ!

地域に根差した活動がしたいという方はもちろん、日本酒が好きだから実際に自分も関わってみたいという方、事務的な活動ではなく実地での活動なので精力的に動きたいという方、とりあえず何か大学生生活の中で活動してみたいという方まで、いろいろな方にお勧めできる活動となっています。

月別活動

(5月) 14日 神の穂田植え

(9月) 17日 神の穂稲刈り



(1月) 20日 日本酒仕込み



1年の活動まとめ・考察 (成果と課題)

今年度はとても精力的に活動させていただくことができました。前年度はコロナウイルスの影響で、本格的に活動させていただくことができず、参加メンバーとしても少し不完全燃焼でした。ですが、今年度は5月に田植えをさせていただき、9月にはその田植えをしたお米の稲刈り、1月には稲刈りをして白米になったお米を日本酒として仕込む作業のお手伝いをさせていただいたり、とても色々な活動を行うことができました。

こういった経験をさせていただけたのは、活動に関わってくださっている各関係者の方々のサポートのおかげです。世情としても調整が難しい中、ここまでの経験を行うことができ、とてもありがたかったです。これに甘えることなく、私たちもこれからの活動に力を入れていきたいと思います。

活動を通して学んだこと

実際にどうやって日本酒が作られているのかということを始めとして、自主的に行動していくことの重要性、地域にプロとして関わっている方との交流でコミュニケーションを取るることの大切さ、様々な学びがありました。

実施主体からのコメント

一般社団法人 神都の祈り
ご担当者様

3年ぶりの活動でわからないことも多かったと思うが、積極的に活動に参加していただき、大変ありがたい。

担当教員より

現代日本社会学部 千田 良仁

コロナ禍で活動ができない期間が続いていたが、今年は活動が再開できた。活動では様々なアイデアを考えて提案するなど、主体的な取り組みとなった。

成果物 / 制作物

